

しょうぼう 消防のしごと

ホームページ
二次元コード



わたしたち せいかつ ひ
私達の生活になくてはならないものに『火』
があります。火はとても便利なものですが、ま
ちがった使い方や火遊びなどをすると、おそろ
しい火事になります。

そして、火事はたくさんの家を焼き、大切な
命まで奪ってしまうこともあり、いつどこで起
こるかわかりません。火事を防ぐために、消防
署ではどんな仕事をしているのでしょうか。

もくじ

- しょうぼうしょ しょうぼうだん
1 消防署と消防団
- しょうぼうしょ いちにち
2 消防署の一日
- しゅつどう し く れんらく し く
3 出動の仕組みと連絡の仕組み
- しょうぼう くるま
4 消防の車
- か じ まち
5 火事のない町づくり
- しょうか きゅうじょ きゅうきゅう しごと
6 消火・救助・救急の仕事

さくせい ちょうしょうぼうほんぶ
作成:さつま町 消防本部

ぼうかとかほん
防火読本

1 消防署と消防団

さつま町には1つの消防署があり、ここから町内のすべての火事や救急などに出動します。

また、いつどこで災害が起きても、すぐ出動し活動できるように、消防署の他に地域ごとに消防団があり、出動の範囲が決められています。



- 消防本部
- 消防署
- 消防団車庫

2 消防署の一日



消防署員の仕事時間は、8時30分から次の日の朝の8時30分までの24時間です。いろいろな仕事をしながら、いつでも災害に出動できるよう準備をしています。

体力作りのためにトレーニングは欠かせません。

いろんな現場に対応できるよう、訓練を重ねます。

さいがいしゅつどう
災害出動
ゆうせん
優先



いつ何をしても災害があれば出動します。そのための整理整頓は消防士にとってとても大切です。1秒でも早く出動できるように、装備の置き方を工夫したり繰り返し訓練を行ったりします。

3 しゅつどう し く れんらく し く 出動の仕組みと連絡の仕組み

しょうぼうしゃ きゅうきゅうしゃ
消防車や救急車がどのような仕組みでしゅつどうするか見てみよう。

かさいげんば
火災現場



きゅうきゅうげんば
救急現場



きゅうじょげんば
救助現場



しぜんさいがい
自然災害



れんけい ドクターヘリ・ドクターカーとの連携



ドクターヘリ



ドクターカー

ドクターヘリ、ドクターカーといっしょに、
さいがいげんば かつどう
災害現場で活動することもあります。

たいせつ いのち
大切な命をつなぐためには
たとえ1秒であってもムダにできません。
すこ はや げんば
少しでも早く現場にかけつけるために
くんれん べんきょう
たくさんの訓練や勉強をします。



ばんつうほう
119番通報

さいがいはっせい
災害発生

か し きゅうきゅう
—火事ですか？救急ですか？
〇〇です。
ば しょ
—場所はどこですか？
しょうぼうしゃ きゅうきゅうしゃ
消防車（救急車）が向かう
ばしょ おし
場所を教えてください。
さつま ちょう ばんち
さつま町〇〇△△番地です。
—どうされましたか？
〇〇〇〇です。

ほくさつ しょうぼう ほんぶ
北薩3消防本部
しれい
指令センター



しゅつどう し れ い
出動指令

しれい いん しゅつどう ばしょ
指令センター員は、出動する場所を
しら さいがい しゅつどう くるま
調べ、災害によって出動する車を
き しゅつどうしれい だ
決めて出動指令を出します。

か さい きゅうじょ きゅうきゅう
火災・救助・救急

しゅつどうしれい だ あと しょうぼう
出動指令を出した後、いろいろな情報
(通報の内容) を送る仕事をします。

む せん れんらく
無線連絡

ばんつうほう ないよう しゅつどう たいいん し
119番通報の内容を出動している隊員に知らせ
ます。また、現場の様子を消防本部に報告します。

ぼうさいぎょうせい む せん はいしん
防災行政無線・メール配信

ぼうさいぎょうせい む せん つか な かさい
防災行政無線を使い、サイレンを鳴らして火災
し けいたいでんわ さいがい はっせい し
を知らせ、携帯電話などに災害の発生を知らせる
メールを送り、消防団を出動させます。

かんけいき かん れんらく
関係機関へ連絡

やく ば けいさつしょ がいしゃ でんりょくがいしゃ でんわがいしゃ
役場・警察署・ガス会社・電力会社・電話会社
さいがい はっせい し
などに災害が発生したことを知らせます。

しゅつどう
出動



4 消防の車

消防署にはどんな種類の車があるのか見てみよう。



水槽付ポンプ車

車に水を2,000L積んでいて、すぐに消火作業ができます。



ポンプ車

消火栓や川などから、水を吸い上げて消火します。水を800L積んでいます。



救急車

火事や交通事故などでけがをした人や、病気のの人に手当をしながら病院へ運びます。



救助工作車

交通事故などで救助をするときに使う車で、人を助け出す道具を積んでいます。



指揮車

火事をすばやく消せるよう指示を出したり、火事の様子を消防本部に無線で知らせたりします。



資機材搬送車

いろんな道具を現場へ運ぶ車で、クレーンで重い物を車に積んだり、移動させたりします。

5 火事のない町づくり

(1) 私達の住む町から火事をなくすために、町から火事をなくすために、災害出動以外にも消防署ではいろんな仕事をしています。

●火災予防

火事を起こさないために、建物をつくる前には、図面を確認して消防設備が決められた場所に取り付けられているか確認します。また、立入検査で火事の危険がないか、きちんと管理されているかを確認します。



●火災調査

火事で燃えてしまったものの中から、火事の原因や被害の様子などを調べます。調べた結果を火災予防に役立てるために、町民のみなさんに伝え、同じような火事が起きないようにします。



●広報

火事が起こらないように、防火を呼びかけます。そのほかにも、町の人に火事について知ってもらうために広報紙や動画などを作って、火災予防について呼びかけています。



(2) 消防設備

建物や町の中にある、消防設備には何があるのか見てみよう。

― 建物の中にある設備 ―

●火を消す設備



しょうかき
消火器

しょうかざい
消火剤を出して消火します。



おくないしょうかせん
屋内消火栓

はこ なか はい
箱の中に入っているホース
をのばして消火します。



スプリンクラー

ねつ はんのう じどうてき みず
熱に反応して自動的に水が
で しょうか
出て消火します。

●火事を知らせる設備



ねつかんちき
熱感知器

かさいほうちき
火災報知器
ねつ けむり はんのう
熱や煙に反応してベルや
おんせい かじ し
音声で火事を知らせます。



じゅしんき
受信機



かさいつほうそうち
火災通報装置

お しょうぼう
ボタンを押すだけで、消 防
しょ かじ し
署に火事を知らせます。



ひじょう
非常ベル

かじ き ひと な
火事に気づいた人が、ベルを鳴
らしてみんなに知らせます。

●にげるときに必要な設備



ゆうどうとう
誘導灯

でぐち わ
出口が分かるようにいつも点け
ています。停電のときでも消え
ません。



ひなん
避難はしご

はしごを外に降ろして
ひなん
避難します。



ぼうか と
防火戸

けむり ほのお ひろ ふせ
煙や炎が広がるのを防
ぎます。

― 町の中にある消火に必要な設備 ―

プール



かわ
川



ちじょうしきしょうかせん
地上式消火栓



すいろ
水路



ぼうかすいそう
防火水槽



ちかしきしょうかせん
地下式消火栓

6 しょうか きゅうじょ きゅうきゅう しごと 消火・救助・救急の仕事

しょうか 消火

(1) あんぜん ひ け どうぐ み
(1) 安全に火を消すための道具を見てみよう。



ぼうかい 防火衣

ねつ つよ そざい
熱に強い素材でできています。ヘルメットや長靴とあわせると重さは約10 kgあります。



ノズル

ホースの先に取り付けて水を出します。スプレー状など水の出し方を変えることができます。



きゅうかん 吸管

かわ ぼうかすいそう みず す
川や防火水槽から水を吸い上げる固いホースです。長さは10m あります。



ホース

なが
長さは20mあります。ホースを何本もつなぐことで、遠い場所へも放水できます。



くうきこきゅうき 空気呼吸器

ポンベの空気で煙の中でも活動できます。使用時間は約15分、重さ約10 kgあります。

きゅうじょ 救助

(2) きゅうじょこうさくしゃ しゅく きゅうじょ きぐ とくちょう
(2) 救助工作車の仕組みや、救助器具の特長について見てみよう。



ウインチ

さいだい やく
最大で約5トンのものを引っ張ることができます。



エンジンカッター

金属のドアやコンクリートなどを切る救助器具です。カギのかかったドアやシャッターも切ることができます。



でんどうゆあつきゅうじょきぐ 電動油圧救助器具

鉄を切ったり、隙間を広げたりする救助器具。交通事故などで車の中に閉じ込められた時、ドアを切ったり、広げたりして車の中の人を助けます。

しょうめいそうち 照明装置



やかん げんば あか
夜間の現場を明るく照らすことで、安全に活動することができます。



クレーン



さいだい やく
最大で約3トンの重いものを吊り上げることができます。



きゅうきゅう 救急

(3) きゅうきゅうしゃ なか きゅうきゅうしきざい とくちょう
(3) 救急車の中や、救急資機材の特長について見てみよう。



ストレッチャー

ストレッチャーは、けがや病気の人を乗せて運ぶ救急資機材です。

ストレッチャーに人を乗せたまま救急車の中に出し入れすることができます。

救急車内のストレッチャーは防振構造の台に固定され、走行中の揺れを少なくします。



えーいーディー AEDモニター

ち お ちから しんそう うご ち なか
血を押す力や心臓の動き、血の中の酸素の量など、けがや病気の人
の体の中の状態を測ることができます。また、AEDでけいれんしている心臓に電気ショックをすることができます。



きゅういんき 吸引器

のどにつまった食べ物や吐いた物を吸い出して、息がしやすいようにします。



じどうしんぱいそせいき 自動心肺蘇生器

心臓と呼吸が止まった人に対し、自動で心臓マッサージと酸素を送る救急資機材です。心臓マッサージは連続して正しいリズムと深さで行うことができます。

